



国際ロータリー 2024-2025 年度 前橋北ロータリークラブ会報

2024 年 12 月 9 日 (月) 第 1 8 5 4 回

会長 塩谷勝利 幹事 小野靖浩

会場監督担当 立見公一 委員



◇ロータリーソング それでこそロータリー

◇会員数 80 名 ◇出席 67.16 %

◇ニコニコBOX 齋藤慎佳会員、下田一成会員
中嶋薫会員、門倉正会員

◇幹事報告 小野 幹事

◇委員会報告 親睦委員会
熊木委員長
◇会員卓話 下田一成 会員



◇会長の時間 「コンサルティングとカウンセリング」

皆さんこんにちは。今日の会長の時間はちょっと真面目な話です。某有名な経営コンサルタントが人生相談、それからコンサルティング、カウンセリングっていうものの違いについてのことをコラムとして書いていたので、それを紹介させていただきたいと思います。

人生相談とは、

人生の先輩が豊かな経験と知識から、こうしたらいいのではないかと考え方や価値観を提供するものです。今嫌われている説教なども含まれるでしょう。

コンサルティングとは、

悩みや問題を解決する方法を伝授することです。解決策をはっきりと明示し、現状を打開していくことです。

カウンセリングとは、

相手の気持ちに共感し、受け入れ、寄り添ってあげることです。説教や解決策を提示することなく、相手が自分で解決するまで付き合うということでもあります。

部下や後輩とコミュニケーションをするとき、あなたはこの3つのアプローチを意識しているでしょうか。この人のこの悩みには人生相談で対応したほうがいいかな、この人のこの問題にはコンサルティングで対応して解決策を教えてあげよう、この人のこの相談にはカウンセリングで対応して、まずは話をじっくり聞いてあげよう、などです。いかがでしょうか。もしかするとこの3つのアプローチを全く考えず、1つのアプローチだけですべて対応していないでしょうか。例えばどの人にも人生相談で対応する。背中を押してほしい人には人生相談の対応は効果的ですが、気持ちを受け止めてほしい人には逆効果です。例えばどの人にもコンサルティング対応するということをやっていませんか、ということですね。全ての人があなただけの解決策を求めているわけではありません。にもかかわらず、解決策ばかりではうっとうしい人になってしまいます。

また、例えばどの人にもカウンセリングで対応するとして、共感ではなく解決方法が欲しい人はたくさんいます。そんな人に対してカウンセリング対応ばかりでは相談するだけ無駄とわれてしまいます。この状況ではこのアプローチ、この問題にはこのアプローチ。そんな風に経営者は3つのアプローチをうまく使い分けてみてください。それだけでコミュニケーションがもととなるトラブルは激減すると思います、というコラムでした。この話を今日、なぜ、させてもらったのかというと、どうしてもこのことを岡崎さんに伝えたくて、この話をさせていただきました。今日の会長の時間は以上です。